

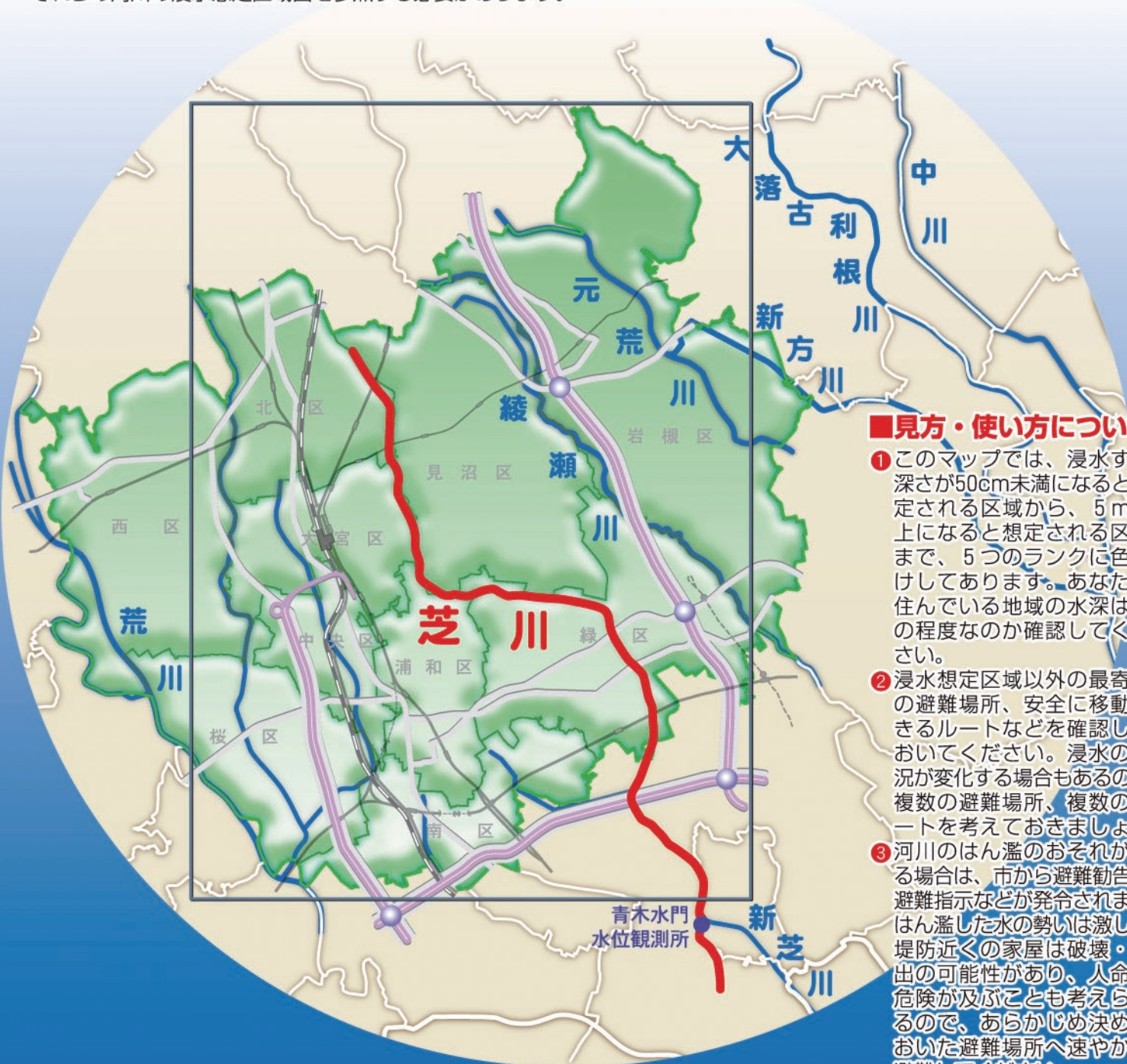
さいたま市

洪水ハザードマップ

(芝川)

■洪水ハザードマップとは

- 100年に1回程度降る大雨(2日間の総雨量411mm)を想定し、芝川の水位が上昇し、堤防が決壊または堤防から越流した場合や流域内の地形条件などにより内水はん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めた浸水想定区域(浸水する範囲とその程度)及び避難場所などを示したマップです。
- 雨の降り方や土地利用形態の変化などにより、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- この浸水想定区域は隣接する荒川や綾瀬川などの河川のはん濫を考慮していないため、その影響が考えられる区域では、それらの河川の浸水想定区域図を参照する必要があります。



■見方・使い方について

- ① このマップでは、浸水する深さが50cm未満になると想定される区域から、5m以上になると想定される区域まで、5つのランクに色分けしてあります。あなたの住んでいる地域の水深はどの程度なのか確認してください。
- ② 浸水想定区域以外の最寄りの避難場所、安全に移動できるルートなどを確認しておいてください。浸水状況が変化する場合もあるので、複数の避難場所、複数のルートを考えておきましょう。
- ③ 河川のはん濫のおそれがある場合は、市から避難勧告・避難指示などが発令されます。はん濫した水の勢いは激しく、堤防近くの家屋は破壊・流出の可能性があり、人命に危険が及ぶことも考えられるので、あらかじめ決めておいた避難場所へ速やかに避難してください。